



平成27年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年8月8日

上場会社名 株式会社オーイズミ 上場取引所 東  
 コード番号 6428 URL http://www.oizumi.co.jp/  
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)大泉 政治  
 問合せ先責任者 (役職名)取締役管理部長 (氏名)前田 信夫 (TEL)046(297)2111  
 四半期報告書提出予定日 平成26年8月12日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

1. 平成27年3月期第1四半期の連結業績 (平成26年4月1日～平成26年6月30日) (百万円未満切捨て)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第1四半期	2,687	△2.3	242	15.1	258	1.3	201	8.0
26年3月期第1四半期	2,749	8.7	211	0.2	255	9.2	186	24.8

(注) 包括利益 27年3月期第1四半期 200百万円 (5.3%) 26年3月期第1四半期 190百万円 (138.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第1四半期	8.97	—
26年3月期第1四半期	8.30	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年3月期第1四半期	26,188	14,102	53.8
26年3月期	26,669	14,059	52.7

(参考) 自己資本 27年3月期第1四半期 14,102百万円 26年3月期 14,059百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	—	—	7.0	7.0
27年3月期	—	—	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	8.0	8.0

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年3月期の連結業績予想 (平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	5,710	1.8	590	14.7	580	5.0	400	6.9	17.78
通期	13,720	1.5	1,770	5.9	1,760	2.8	980	2.5	43.56

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
 (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無  
 (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
     ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
     ② ①以外の会計方針の変更 : 無  
     ③ 会計上の見積りの変更 : 無  
     ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）  
 ② 期末自己株式数  
 ③ 期中平均株式数（四半期累計）

27年3月期 1 Q	22,500,000株	26年3月期	22,500,000株
27年3月期 1 Q	4,221株	26年3月期	4,221株
27年3月期 1 Q	22,495,779株	26年3月期 1 Q	22,495,849株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照下さい。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報等) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(平成26年4月1日から平成26年6月30日)におけるわが国経済は、デフレ脱却と景気回復への現実感が高まったものの、消費税率引き上げ前の駆け込み需要の反動から総じて不透明感の漂う状況となりました。

当社グループのコア事業の主要マーケットとなる遊技場業界は、消費税増税の影響を見極めるため設備に対する投資姿勢がより慎重になりました。

このような事業環境の中、当社グループは、開発・製造・販売・アフターサービスの一貫体制をもって付加価値向上に努めると共に、機器事業における周辺設備機器においては、低騒音・省電力とメンテナンスフリーを実現した『樹脂研磨式メダル自動補給システム』を戦略商品と位置づけ、これの拡販に引き続き注力しました。

なお、遊技機は、パチスロ機を市場環境の判断から第2四半期以降にリリースすることに致しました。これらにより機器事業全体では前年同期に対し減収増益となりました。

不動産賃貸事業におきましては、当第1四半期に供与開始した賃貸用商業ビル(神奈川県海老名市/取得価額770百万円)が収益に寄与して増収増益となりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間における連結業績は、売上高2,687百万円(前年同期比2.3%減)、経常利益258百万円(前年同期比1.3%増)、四半期純利益201百万円(前年同期比8.0%増)となりました。

なお、セグメントの業績は、次のとおりであります。

#### (機器事業)

機器事業は、当第1四半期は売上高2,549百万円(前年同期比2.8%減)、セグメント利益286百万円(前年同期比10.6%増)となりました。

#### (不動産事業)

不動産事業は、当第1四半期は売上高145百万円(前年同期比7.3%増)、セグメント利益88百万円(前年同期比6.6%増)となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末(平成26年3月31日)に比べ480百万円減少し、26,188百万円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末に比べ1,499百万円減少し、14,143百万円となりました。これは主に、現金及び預金の減少(1,418百万円減)、受取手形及び売掛金の減少(170百万円減)、その他に含まれる未収入金の減少(239百万円減)の一方で、商品及び製品の増加(148百万円増)、仕掛品の増加(83百万円増)によるものです。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ1,018百万円増加し、12,044百万円となりました。これは主に賃貸用不動産の取得による建物及び構築物の増加(326百万円増)及び土地の増加(422百万円増)、有形固定資産その他(純額)に含まれる建設仮勘定の増加(394百万円増)の一方で、投資有価証券の減少(137百万円減)によるものです。

負債合計は、前連結会計年度末に比べ523百万円減少し、12,086百万円となりました。これは主に支払手形及び買掛金の減少(1,449百万円減)、未払法人税等の減少(421百万円減)の一方で、短期借入金の増加(388百万円増)、1年内返済予定の長期借入金の増加(119百万円増)、長期借入金の増加(789百万円増)によるものです。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ42百万円増加し、14,102百万円となりました。これは主に利益剰余金の増加(44百万円増)によるものです。

この結果、自己資本比率は53.8%と前連結会計年度末に比べ1.1ポイント増加しました。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年3月期第2四半期連結累計期間及び通期の業績予想につきましては、平成26年5月9日付決算短信の発表数値からの変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
該当事項はありません。
  
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
該当事項はありません。
  
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
該当事項はありません。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	5,610,219	4,191,730
受取手形及び売掛金	3,892,151	3,722,125
商品及び製品	1,273,325	1,422,157
仕掛品	847,839	931,322
原材料	2,019,740	2,059,253
繰延税金資産	150,201	136,641
その他	1,872,108	1,689,827
貸倒引当金	△22,353	△9,279
流動資産合計	15,643,234	14,143,779
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,840,013	2,166,584
土地	7,039,212	7,462,171
その他（純額）	167,143	579,540
有形固定資産合計	9,046,370	10,208,296
無形固定資産		
ソフトウェア	42,500	40,000
その他	13,172	13,110
無形固定資産合計	55,672	53,110
投資その他の資産		
投資有価証券	1,463,796	1,326,158
繰延税金資産	1,247	2,284
その他	486,880	481,913
貸倒引当金	△28,000	△27,100
投資その他の資産合計	1,923,924	1,783,256
固定資産合計	11,025,967	12,044,662
資産合計	26,669,201	26,188,442

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,471,848	3,022,790
短期借入金	1,000,000	1,388,800
1年内返済予定の長期借入金	1,255,821	1,375,464
未払法人税等	501,658	80,359
賞与引当金	47,143	74,760
製品保証引当金	13,000	17,000
その他	338,773	321,830
流動負債合計	7,628,244	6,281,003
固定負債		
長期借入金	3,784,671	4,574,480
繰延税金負債	35,838	34,708
役員退職慰労引当金	458,260	460,582
退職給付に係る負債	28,616	29,530
資産除去債務	62,351	62,649
その他	611,769	643,294
固定負債合計	4,981,506	5,805,244
負債合計	12,609,751	12,086,248
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,006,900	1,006,900
資本剰余金	673,700	673,700
利益剰余金	12,330,910	12,375,166
自己株式	△4,002	△4,002
株主資本合計	14,007,507	14,051,763
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	51,942	50,430
その他の包括利益累計額合計	51,942	50,430
純資産合計	14,059,449	14,102,194
負債純資産合計	26,669,201	26,188,442

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)
売上高	2,749,623	2,687,303
売上原価	2,175,394	2,100,063
売上総利益	574,228	587,240
販売費及び一般管理費		
販売促進費	105	2,384
役員報酬	47,799	47,781
給料手当及び賞与	61,381	50,685
賞与引当金繰入額	16,427	13,148
退職給付費用	6,460	9,067
役員退職慰労引当金繰入額	2,321	2,321
その他	228,609	218,857
販売費及び一般管理費合計	363,105	344,245
営業利益	211,123	242,994
営業外収益		
受取利息	808	717
受取配当金	14,367	10,441
その他	36,874	14,722
営業外収益合計	52,049	25,881
営業外費用		
支払利息	7,187	8,571
その他	897	1,902
営業外費用合計	8,084	10,474
経常利益	255,088	258,401
特別利益		
固定資産売却益	28,533	—
投資有価証券売却益	28,403	23,719
特別利益合計	56,936	23,719
税金等調整前四半期純利益	312,024	282,121
法人税、住民税及び事業税	106,041	68,168
法人税等調整額	19,208	12,227
法人税等合計	125,249	80,395
少数株主損益調整前四半期純利益	186,774	201,726
四半期純利益	186,774	201,726



四半期連結包括利益計算書  
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	186,774	201,726
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	3,367	△1,511
その他の包括利益合計	3,367	△1,511
四半期包括利益	190,142	200,214
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	190,142	200,214

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

(セグメント情報)

I 前第1四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	機器事業	不動産事業	計	調整額(注)1	四半期連結損益計算書計上額(注)2
売上高					
(1)外部顧客に対する売上高	2,621,448	128,174	2,749,623	—	2,749,623
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	—	7,350	7,350	△7,350	—
計	2,621,448	135,524	2,756,973	△7,350	2,749,623
セグメント利益	259,097	83,117	342,214	△131,091	211,123

(注) 1 セグメント利益の調整額△131,091千円は、提出会社の管理部門に係る費用であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	機器事業	不動産事業	計	調整額(注)1	四半期連結損益計算書計上額(注)2
売上高					
(1)外部顧客に対する売上高	2,549,228	138,074	2,687,303	—	2,687,303
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	—	7,350	7,350	△7,350	—
計	2,549,228	145,424	2,694,653	△7,350	2,687,303
セグメント利益	286,672	88,572	375,244	△132,250	242,994

(注) 1 セグメント利益の調整額△132,250千円は、提出会社の管理部門に係る費用であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。